

公益社団法人 私立大学情報教育協会
第7回産学連携人材ニーズ交流会
開催要項

日時：平成28年3月4日（金）13:30～17:00

17:15～19:00（情報交流会）

場所：ベルサール西新宿：東京都新宿区西新宿4-15-3 住友不動産西新宿ビル 3号館
（地下鉄大江戸線「都庁前駅」・「西新宿五丁目駅」徒歩5分 各社線「新宿駅」徒歩13～15分）

1. 開催趣旨

自動車、家電、センサーなどあらゆるモノがネットワークにつながり、リアルタイムでデータ化される膨大なデータを活用することで、さまざまな価値の創出を可能とする時代が到来しています。ICTは、生活やビジネスを大きく変える「知」のインフラであり、地域や社会の課題を解決する手段として避けて通れなくなってきています。常識にとらわれることなく、さまざまな領域から多様な情報や考えを組み合わせ、新しい視点を提案し行動できる実践的な人材力の育成が急がれています。このような情報革命の時代に対応できる大学教育の転換を目指して、産学連携による分野横断型の教育改善を考える場にしたいと考えております。

2. プログラム

13:30 開会挨拶 向殿政男氏（公益社団法人 私立大学情報教育協会会長）

産学連携人材ニーズ交流会の目的、今までの取り組み経過、今後の進め方等について報告・説明します。

情報提供

(1) IoT(インターネット・オブ・シングス)の世界の潮流について

光井隆浩氏（株式会社東芝 インダストリアルICTソリューション社
IoT&メディアインテリジェンス事業開発室 室長附）

あらゆるモノがネットワークにつながり、リアルタイムでデータ化されるIoTによる「ビッグデータの活用」が世界の大きな潮流となっており、あらゆる分野で膨大なデジタルデータを生成・流通・蓄積し有効に活用することで新たな価値の創造や社会的課題の解決につながる取組が活発化しています。IoTが産業や社会、企業のビジネスモデル、個人のライフスタイルなど様々な領域に大きな変化をもたらすことで今後の経済、社会にどのような変革をもたらすのか、また便利さとリスクのバランスなどの課題について紹介いただきます。

(2) 新たな価値を創出するビッグデータの活用

河合美香氏（富士通株式会社 統合商品戦略本部 エバンジェリスト）

IoTによるビッグデータ活用の進化はめざましく、新たなビジネスの創出や、食・農業、交通、健康・医療など地域や分野を超えたイノベーションなどにおいて、本格的な活用フェーズに入ってきています。ビッグデータを活用することで新たな価値を創造し、社会のイノベーションの加速に向けて取組んでいる事例を紹介するとともに今後の人材の育成について言及いただきます。

課題提起

大学教育での構想力の育成について（情報専門教育委員会）

大原茂之氏（公益社団法人 私立大学情報教育協会 情報専門教育分科会 主査）

ICTによる「現状の高度化や改善」という発想ではなく、「イノベーションを生み出す」力をもつ人材教育への転換が求められています。ICTの技術を単に学ぶだけでは社会を改革できません。人や社会のニーズを知り、多面的により良い社会を構想できること。その構想をIoTやビッグデータなど新たな技術を取り込んだICTを活用して、社会・文化・組織を変えていくような人材の育成を大学が展開していく必要があります。そのためには、ICT分野と異分野の知識を結びつけて、現実化していく構想力を鍛え訓練するアクティブ・ラーニングの取組が必要になります。そこで初年次教育から始める構想力の教育モデルを情報専門教育分科会から提案し意見交換を行うことにしております。

15:30 休憩（10分）

全体討議

(1) 今後のICT活用人材の教育を考える

情報提供及び課題提起を踏まえてICT活用人材の教育について意見交換し、分野横断型教育への転換を考察します。

(2) 教員の教育力の向上を目指すための「企業現場研修」の取り組み報告

(3) 学生に気づきを喚起させるための「社会スタディの場」の取り組み報告

17:00 閉会

3. 情報交流会（17：15開始：無料）

17:15から産学連携による人材教育を実現するための意見交流と理解・認識を深める場として参加費無料で情報交流会を実施します。簡単な飲み物等を用意しておりますので積極的なご参加をお願いします。

4. 参加対象者

（1）大学関係者

私立大学の学長、副学長、学部長、教務部長、教員、職員、本協会に関係する委員、サイバーFD研究員

（2）企業関係者

本事業に賛同する企業の経営責任者、人材育成部門・事業部門の責任者及び担当者

5. 運営方法について

- （1）交流会の内容は編集し、私情協サーバーからインターネットにて配信を予定しております。
- （2）映像は、参加者、発言内容が特定されないよう会場全体の俯瞰映像とし、交流会での発言は固有の大学名、企業名でなく「我が大学」、「我が社」などの表現で発言していただく予定にしております。

6. 参加費

無料

7. 申込方法

別紙申込書にてお申込下さい。

申込書は (<http://www.juce.jp/LINK/sangakurenkei2016/>) に掲載しております。
ダウンロードしてメールにて (info@juce.jp) 迄お送り下さい。

8. 問い合わせ先

公益社団法人 私立大学情報教育協会事務局
〒102-0073 東京都千代田区九段北4-1-14 九段北TLビル4F
TEL:03-3261-2798 FAX03-3261-5473 E-mail:info@juce.jp